

目次

月報アルバム——レーザー光による月測距実験, A型特異星のスペクトル	60
A型特異星 (Ap) と金属線 A 型星 (Am)	成相 恭二 63
早期星特異星 (Ap, Am 星) と星団中の「さまよえる」星	今川 文彦 64
早期型特異星の磁場の起源	加藤 正二 67
A型特異星における元素の拡散	尾崎 洋二 69
宇宙における高エネルギー現象	伊藤 謙哉 73
岡山天体物理観測所のオペレーター	野口 猛 80
新刊紹介	81
投稿欄	82
学会だより	84
天象欄——4月の天文暦, ヘルムート・アプト	85

——表紙写真説明——

A型特異星 HD 221568 のスペクトル HD 221568 の明るさ, 色, スペクトルなどは, 約 160 日の周期で変化する。明るさの振幅は約 0.13 等であるが, 極大と極大の中間に 0.05 等ていどの第 2 極大がある。明るいときほど, 色 (B-V) が赤い。表紙写真では上から順に, 極大から測った位相が 0.05, 0.12, 0.22, 0.29, 0.43, 0.54, 0.75, 0.87, 0.90, 0.98, 0.01 のときのスペクトルを示す。上下端は鉄アークの比較スペクトル。左端から約 7~10 cm のところに見える 4 本の吸収線は右から SiII の 4128.05, FeII の 4128.74, EuII の 4129.70, SiII の 4130.88 で, 明るいときに強くなるのが見られる。

新刊発売中!

全国書店にて申込受付中

天体観測 データ・ブック

東亜天文学会編

天体観測シリーズ第12巻
A5判・250頁・¥1200・干送90

本書は、天文学と各種天体及び各方面の天体観測にわたっての必要な数値や資料を全般的に整理して集めたものであり、天体観測者にとってアマチュア天文学家だけでなく、専門家に対しても役立つものとして編集した。従って本書は単なる天体観測法の本ではなく、初めて天体観測に志す人にも利用できる半面、可成り深入りした天体観測者のハンドブックとしても適切であるように意を用いた。なお「天体観測シリーズ」に一冊を設けて取扱うことをしなかった天体については、基本的な数値ばかりでなく、その天体の観測法なども加えて述べるように努めた。本書の各方面の内容が一様でなく、可成りの変化があるのは、各執筆者の持ち味を活かすように意を用いた結果であり、却って多彩な内容になったものとひそかに自任している。 (村上 忠敬)

改訂 太陽面経緯度図

日本天文学会編 15cm 8面 ¥150 干70

観測用星図

日本天文学会編 A5判 図8 ¥500 干70

変光星図

五味一明編 B5判 図50点94図 ¥1,000 干70

スズキ星座図譜

鈴木敬信著 A4判 214頁 ¥2,800 干90

この書は全88星座にあてはめられた人物や動物、器具などの、すっきりした親しみのあるしかも正確な配置を考慮し、その上、星座絵と対照に星図を配したもので、星座を覚えるのに、また天文教材として唯一のユニークな星座図譜である。

主な内容と執筆者

- 1 天球と星座——村上忠敬・佐藤明達
- 2 天文常数——村上忠敬
- 3 天体暦——長谷川一郎
- 4 地球型惑星——佐伯恒夫
- 5 木星型惑星——佐藤 健
- 6 彗 星——岡 勉
- 7 月 面——福井実信・長谷川一郎
- 8 流星——小橋孝二郎・森 毅男
- 9 流星塵——森久保茂
- 10 太陽黒点——小山ひさ子
- 11 変光星・新星 本多英夫・山田達雄
- 12 彗星——橋本通義
- 13 星雲星団——中野 繁
- 14 天体写真——村山定男・藤井旭
- 15 望遠鏡——星野次郎
- 16 天体発見について——長谷川一郎

干番号160 東京都新宿区三栄町8番地
電話 (359)7371~5 振替東京59600番

恒星社 目録
進呈



天文博物館

五島プラネタリウム

東京・渋谷・東急文化会館8階

電話 (407) 7131,7509

☆ 3月 太陽の一年

☆ 4月 オーストラリアの星空

投影時間	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
平日	11.00	12.30	2.00	3.30	5.30	7.00
土日・祭日	11.00	12.30	2.00	3.30	5.00	6.30

- 10月1日~3月31日の間は平日 7.00 の回は中止します。
- 休館日 毎週月曜日 (ただし夏休み中は無休館です。)
- 料金 大人 150 円・学生 100 円・小人 70 円

